2019年度 第１回長崎県女性審判研修会兼交流会 実施要項(20190803)

文責）　長崎県バスケットボール協会
審判委員会　女性担当　　久原　裕未

１　目的

県内女性審判員の交流を深めるとともに、女性分科会の活動内容の周知およびこれまでの活動報告を行う。また、今後の審判活動に生かすための情報交換を行う。

２　日時

令和元年８月３日（土）　９：３０～

３　日程

受　　付　　９：00～9：20
講　義・交　流　会　　９：30～10：30（予定）
【講師】妻夫木　敏明　氏　『女性レフリーのこれからの活躍について』
実技（ 希望者のみ ）　※中学校のリーグ戦にて実施

４　会場

小佐々スポーツセンター　　〒857-0401　佐世保市小佐々町黒石523番地１
電話番号）0956-68-3787

５　駐車場

体育館の目の前に駐車場がありますが、チーム関係者が優先となります。
空きがない場合は、会場を５０mほど過ぎたところに「大悲観公園」の駐車場がありますので、そちらをご利用ください。

６　事前手続き（必須）

①TeamJBAシステムより、事前に講習会の申込をお願いします。
②GoogleフォームのＵＲＬにログインし、事前アンケート等のご協力もお願いします。

７　受講料

５００円（当日受付にて集金します）

８　服装

特に指定はありません。

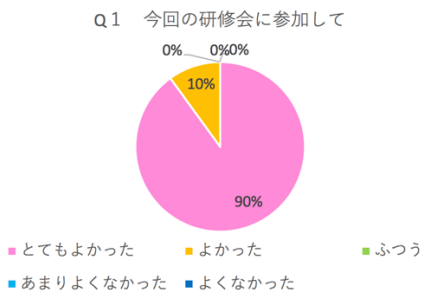
９　準備物

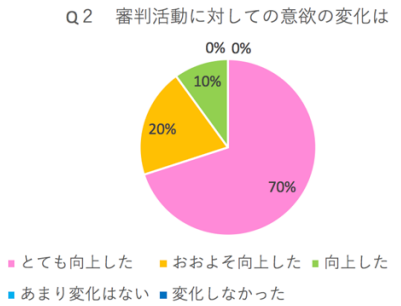
筆記用具、実技希望者はレフリー用具一式

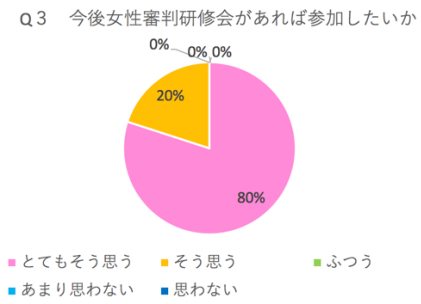
【問い合わせ先】
（一社）長崎県バスケットボール協会
審判委員会　　担当　久原　裕未
mailsending-nba2018@yahoo.co.jp

1　2019年度 第１回長崎県女性審判研修会兼交流会（事後アンケート結果）

①　今回の研修会の感想をお聞かせください。







・皆さん思っていることは同じで、不安なことが多いと感じました。男性が多い中、待ち位置などその場の雰囲気になじめず、ウロウロしたりすることもあります。試合やコミュニケーションを増やしていく中で、少しずつではありますが、信頼が増えていくように努力したいと思います。
・女性だけの研修会に参加させていただき、昔を思いつつ、今の女性審判のあり方がわかりとても勉強になりました。今も昔も「女性」レフリーの悩みは同じだったり。そして皆様のやる気にとても感動しました。
・同じ女性の審判の方と悩みを共有できたりアドバイスを頂いたりできてよかったです。今の自分の課題をクリアしていけるよう、いろんな人とコミュニケーションを取りながら頑張っていきたいと思いました。
・自分の判定に自信がなく、自分が審判をやっていいのかという不安があったんですが、みんな同じ悩みを抱えていることがわかってとても安心しました。どんどん積極的に吹きに会場へ行きたいと思います。
・ディスカッションがしっかりできて、周りの意見を聞き、考えさせられる部分もたくさんあり、すごく有意義な会でした。
・１ゲームを通して試合の流れをもっと把握すること、コートの外でも沢山の方とコミュニケーションを取る必要性、交代のイン・アウトの確認不足などをご指摘頂きました。
・今まで審判をするのは苦でしかありませんでした。しかし本日の交流会を終えて、意識を変えて楽しく笛を吹けるように頑張りたいです。
・女性目線での話が聞けて良かった。コミュニケーションの大切さがわかった。
・他に参加した方も自分と同じ不安や悩みをもたれていながら、頑張られていることを聞いて勇気付けられました。子どもが小学生でミニバスを卒業してからも、審判として自分も頑張って行きたいと思いました。
・話をする時間が短かったので、もう少しじっくり話ができればな、と感じました。

②　今後、女性審判研修会（交流会）を実施するとしたら取り入れてほしいことなど（要望）

・今回、初めて交流会に参加させて頂いて、とても良かったです。色々な方と話す機会を与えて下さり、ありがとうございました。
・何度もこういう研修会を実施されて、女性レフリーの中でどんどん広めていき、人を増やしていってほしいと思います。
・今はまだ子どもを母に預けて出るのですが、最近ついて行きたいと言われることが増えました。チームの子、自分の為にレフェリーの研修をどんどん受けて行きたいのですが、子どもが理由でいけない時が増えると向上心を保つのに苦労します。
・気軽に女性でも参加できる場面があったらいいと思います。
・「判定をする上で大切なこと、気をつけること／一貫した自分の基準をつくるには」という内容の講義や交流会（をしてほしい）
・コートでの動き方（メカ）など、実技で教えてもらいたいなと思います。
・研修会を実施して頂き、たくさん交流を深められたらいいと思います。今回参加できてよかったです。

2　交流会・研修会の様子

3　今後の課題

（1）日程・会場について

- 学校が夏季休業中の時期に実施したが、これが適切であったか。厳しい暑さの中、空調のない控え室や体育館での実技は、十分な配慮を要する。なるべくそのような環境を整えての実施が望ましい。
- 中学生のリーグ戦を活用して実技研修ができ、ありがたかった。佐世保地区以外での実施であれば、実技研修の実施法の検討が必要である。

（2）研修会内容について

- 「講師の方のお話を聴きたい」ということで参加された方もいらっしゃり、次回以降も講師をお招きして様々な情報を共有できる機会にしたい。
- 交流会ではディスカッションを実施し、現時点で個人が抱えている課題や悩みを共有し、その対策法や意見を交換する活動を行なった。ライセンスやカテゴリー、年代やバックグラウンドなどに関係なく、十分に意見交換できる時間を設けたい。今回は実技の時間の都合で短くせざるを得ず申し訳なかった。
- 実技の実施を希望する声も複数いただいている。インストラクターの方と PGC や PostGC の時間をある程度時間をとって実施できるようにする。

（3）その他

- より多くの方に関心を持っていただけるように、内容をニーズにあったものに改良していくだけでなく、アナウンス体制も整えるようにする。

4　最後に

講師の妻夫木先生を初め、多くの方々にご協力をいただき、女性審判研修会を実施することができました。日程が合わず参加できなかった方々からも、たくさんの励ましの言葉をいただきました。ありがとうございました。

現在、「女性分科会」という組織が編成され、女性審判員が活動しやすい環境整備等を、全国規模で取り組んでいる流れがあります。女性分科会の活動や組織をより多くの方々に認知していただき、女性審判が活動しやすい環境づくりを、県内でも進めていければと考えています。そのためにも、次年度以降も女性審判研修会を実施し、一人でも多くの声を吸い上げ、環境整備や交流を進めていきたいと思います。

ご尽力いただきました皆様、本当にありがとうございました。

※参考資料

日本バスケットボール協会　http://www.japanbasketball.jp

→「**サマーキャンプ**」で検索すると、女性分科会の記事を閲覧できます。